

【授業科目】 ケアリング論 Introduction to Caring

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
草野 純子	2年次後期	選択	1	15	講義	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	<p>授業概要/ケアリングは看護実践の中核となる概念であり、看護者と対象との関係のあり様を示す重要な概念である。本授業では日常生活に見られるケアリングの意味、そして看護におけるケアリングの意味と価値について検討し、その概念や関連した理論を学ぶ。また、その過程を通して、看護におけるケアリングの本質や生命の尊厳について探求し、看護職者としての看護観を発展させることをねらいとする。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/提出されたレポートやテスト課題については、コメントをつけて返却する。 *実務経験を持つ教員が授業を進める。</p>							
授業の 位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー④「幅広い視野でヘルスケアシステムにおける看護の専門性ならびに関連する多職種の機能・役割を理解し、連携して地域社会に貢献することができる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	<p>①ケアリングについての自分自身の考えを構成し、論述することができる。 ②看護におけるケアリングについて理解を深め、ケアの視点を論述できる。 ③看護師として人をケアすることについて、自分の考えを論述することができる。 ④ケアリングを提唱する理論家を1人選択し、その考え方についてグループのディスカッションで自分の意見が述べられる。 ⑤グループで資料収集、討議を通して、発表資料を作成し、プレゼンテーションできる。</p>							
時間外学習 に必要な 内容・時間	<p>第1回事前学習：テキスト「キャロル・レップナネン・モンゴメリー著 上郡 博他訳：「ケアリングの理論と実践」」を読み、ケアリングについての学び、気づきについてまとめる(800字)(2時間) 第2回事前学習：自分の体験を振り返っておく(30分) 第3回事前学習：配布資料を読んでおく(30分) 第4回事前学習：自分で選択した理論家の理論について資料を探して読んで理解を深めておく。(1時間) 第5回事前学習：自分で選択した理論家の理論を活用して、事例を通してケアリングの視点からの看護実践についてまとめておく。(個人ワーク) 第6・7回事前学習：プレゼンテーションの準備を行う。(1時間) 第8回事後学習：①看護におけるケアリングについて、自分自身の考えを述べるができる。 ②①の自分自身のケアリングの視点から事例について、看護師が患者にかかわる姿勢や態度、患者とのかかわり方とケアリングの実践について述べるができる。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1・2回 ケアリングの概念について、講義・グループディスカッションを通して学ぶ。(メイヤロフ、ワトソン理論を柱に理論的理解をする)身近で用いられているケア/ケアリングについて考える。学生の考えるケアリングについて意見交換する。</p> <p>第3回 ケアリング論におけるケア提供者の資質と対象の関係の在り方について、講義・グループディスカッションを通して学ぶ。</p> <p>第4回 ケアリング論におけるケアリングの効果について、講義・グループディスカッションを通して学ぶ。</p> <p>第5-7回 ケアリングの看護理論を活用し、看護実践におけるケアリングを事例より学ぶ。</p> <p>第8回 ケアリングの看護理論を活用し事例展開のまとめ・発表</p>							全て 草野
評価方法 評価基準	レポート 80%、グループワーク 20%							
教科書	キャロル・レップナネン・モンゴメリー著 上郡 博他訳：「ケアリングの理論と実践」 M・シモーヌ・ローチ著 鈴木智之他訳：「アクト・オブ・ケアリングーケアする存在としての人間」	参考書 等	<p>配布するプリント ①ミルトン・メイヤロフ. ケアの本質：生きることの意味、田村真由か訳、東京、ゆるみ出版、1987. ②ジーン・ワトソン：ワトソン看護論-人間科学とヒューマンケア-、医学書院、2005. 参考図書 ③マデリン・レイニンガー：レイニンガー看護論-文化ケアの多様性と普遍性-、稲岡文昭監訳、東京、医学書院、2002. ④ヘルガ・クーゼ：ケアリング 看護婦・女性・倫理、MCメディア出版、2003.</p>					
学生への 助言等	<p>・体験をもとにケアリングについて考えます。自分の体験を振り返り積極的に意見交換してください。 ・ワトソン、レイニンガーの看護理論家については、図書館の蔵書や解説本などを参考にすると理解を進めることができます。</p>							